

読書

一六〇〇(慶長五)年 たもので、そのために道
九月十五日、関ヶ原の戦 一が使用した参考書目は
が行われた。この合戦に 二百五十五点にも及ぶ。
関する書物は大名の武功 多数の資料を使って著
記や戦記など数多く残さ わされた本書の中でも目
れている。林道春・春斎 を引くのは八枚の戦況
の「関ヶ原始末記」や宮 図。午前八時の開戦時の
古尚古「関原軍記大成」、 第1号図「東西両軍関ヶ

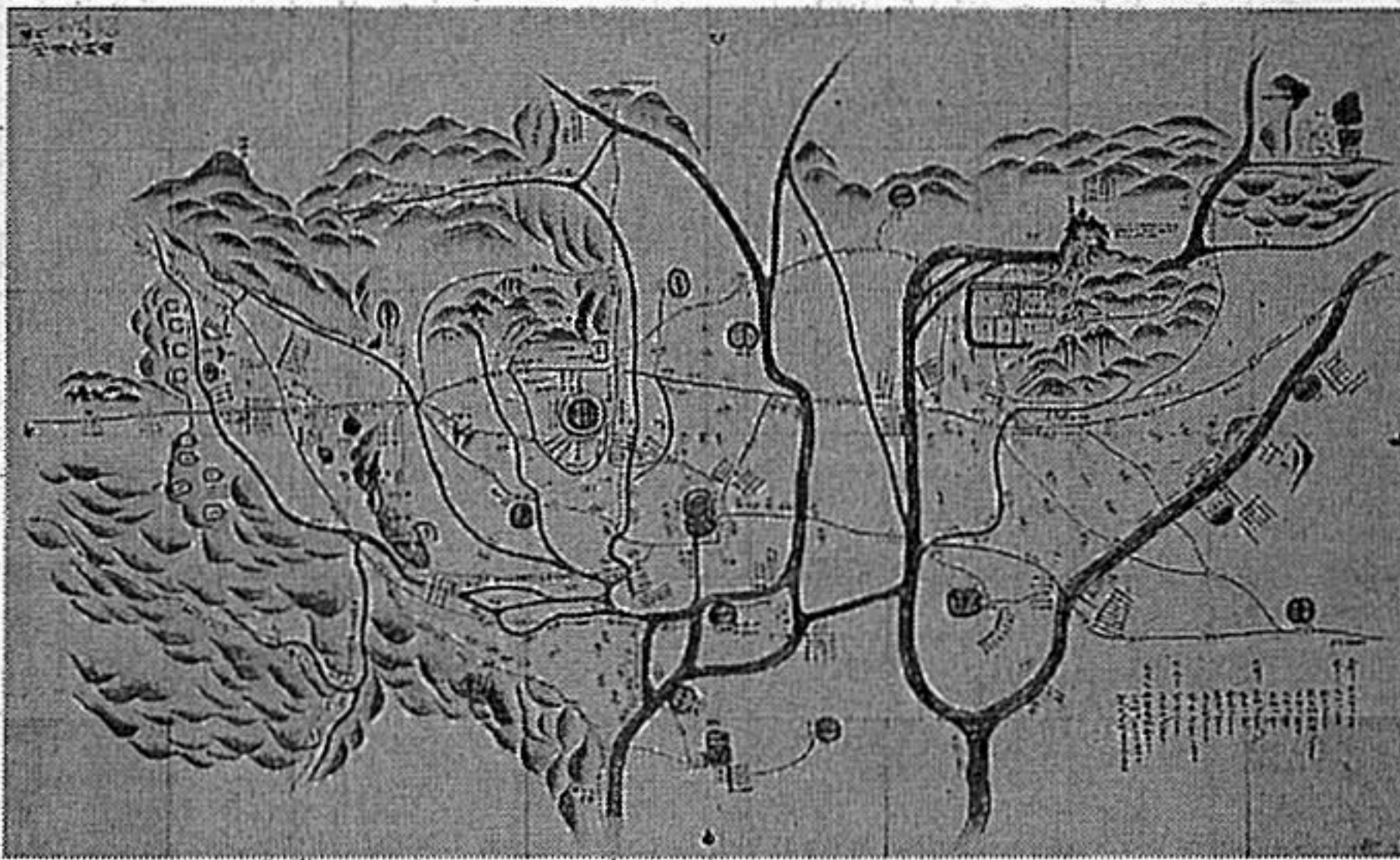
県図書館に行こう

こんな情報^①が待っている

作者未詳「石田軍記」な 原二陣ヲ列ス」から、午
どが挙げられる。 後二時の第8号図「島津

神谷道一著「関原合戦 義弘前二向テ敗走ス」ま
図志」は、一八九二(明 で、刻々と変わる戦況を
治二十五年)年に出版され 克明に表している。東軍
た。江戸時代に將軍をは を赤の凸で、西軍を緑の
はかって曲筆された従来 凸で表わし、それぞれの
の戦記を正そうと意図し 軍勢の位置が一目で理解

関原合戦図志 両陣営の戦況を克明に



できる。東軍・西軍双方 上の地形とともに把握で
が形勢を変えつつ兵力を き、絵図や絵巻物とは別
展開していく様子が地図 のおもしろさがある。

出兵、維新後は南宮神社
の禰宜となる。学制発布
の後、南宮神社境内に千
之義校が開校した際には
初代首席教員として迎え
られた。

神谷道一
は一八二三
(文政六)
年、可見郡
久々利村に
生まれ、幼
名を藤太
郎、簡齋と
号した。神
谷家は代々
旗本千村家
に仕え、道
一は七代目
当主にあた
る。明治維
新時には千
村隊第二隊
隊長として
戊辰戦争に

は一八七九(明治十二)
年に郡制が施行される
と初代可見郡長に。その
後恵那郡長、大野・益田
・吉城三郡の郡長を歴
任。この当時の様子は郡
長日記「懐紳」として活
字化されている。八五年
退官後は居を岐阜に移
し、ここに紹介した「関
ヶ原合戦図志」のほか「新
撰美濃志」を著すなど修
史に力を注ぎ、一九〇四
(明治三十七)年、八十
年余りの天寿を全うし
た。

「関原合戦図志」の扉部分

BOOK REVIEW